

## 会長就任挨拶 (新年度運営方針)

### 会長 梅本泰正

この度 奥谷さんから会長を引き継ぎました梅本でございます。実力会長の後任として微力ながら、会員の皆様と一緒に、より楽しく、元気の出る集まりとなりますよう、頑張っまいりますので、よろしくお願ひします。

今年の会員数は年度予算として計画しました420人をようやく越えておりますが、これは喜ぶべき数字ではありません。

私が、平成19年に入会しました吹田の会員数は615人、この三年間で200人も減っています。私の同期であります老犬28期生で吹田に入会したのが、実に134人でした。今年、高齢者大学校を修了された方の入会は30人足らずで、今後も20人から30人程度となることが予想されます。

こうした中で、同窓会活動を活性化して、魅力のあるものになればなりませんし、活動の維持のためにも、会員数の確保は重要と考えております。

昨年、広報誌吹田だよりにニュースレターを広報誌に加えまして、発行を5回から8回と増やし、情報提供を拡充しました。さらに、今年は、連絡協議会で会員獲得を目的の一つとしてのホームページの立ち上げを重点課題として挙げています。

吹田のニュースレターは自分が云い出して、年4回、あまり得意でもないパソコンと格闘しながら、編集、制作をしました。確かに、パソコンや簡単で便利な印刷機を使えば、印刷屋を使わずに安く出来ますが、それで、これを使って作りました・・と云う自己満足に陥っていないだろうかとの反省もあります。

ホームページにしても、広報誌にしても、それは単に情報を伝える道具でしかありません。同窓会吹田の活動そのものの充実ぶり、面白さや多性などが問われることとなります。

今年度の方針としまして、組織を少し触り、役員を、会長・副会長、そして事務局役員、クラブ役員、地区役員と三つに括ることにしました。

クラブと地区はこれまでと同じですが、これまでの総務部・広報部・研修部・地域交流部・地域福祉活動部と五つの部をひっくめて事務局としました。この中で、総務・広報、行事・企画と云った分担は決めて運営しますが、クラブ活動、地区活動そして事務局の活動の大きな三本柱それぞれが活動の充実を図り、会全体の活性化につながればと考えております。

クラブ活動につきましては、事務局(企画担当)が新規クラブの立ち上げを積極的に支援するとともに、同好会制を実施し多様な活動を図ってまいります。

地区活動につきましては、昨年、広報誌など会員への配布物の手配りを徹底しようと、皆様にご協力をお願いし、当初は二割の実施率でしたが、後半は八割の達成率で定着してまいりました。単に経費削減だけでなく、地区会員とのコンタクトの確保、動静把握につながることを期待し、これからも是非ご協力をお願いします。

又、地区活動につきましては、昨年度会員アンケートを実施しました。その結果を踏まえ、今年は、ブロック制を進めることにしています。二三の区合同での小集会の開催を上げよう・・というものです。

以上述べましたことは、より多くの会員の皆様に同窓会活動へ参加していただきたい、その場を作っていきたい、との願ひからのものであります。何をすればよいのか、事務局だけでは限界もございませぬ。

会員の皆様とともに進めて参りますので、地区の集まり、クラブ・同好会、そして事務局行事への積極的な参加とともに、運営へのご協力を重ねてお願いし、新任の挨拶とさせていただきます。